

旭川廃棄物処理センター維持管理状況の情報公表

設置者名	株式会社 旭川振興公社 代表取締役社長 高瀬 善朗
施設名称	旭川廃棄物処理センター
設置場所	旭川市江丹別町共和279-2
問合せ先	(0166) 63-4153

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「法」という。）の規定に基づき、維持管理に関する情報を公表します。

1 廃棄物処理施設の維持管理に関する計画

設置又は変更の許可申請書、軽微な変更等の届出書、設置の届出書に記載すべき事項	別 添 設置許可証のとおり
----------------------------------------	------------------

2 廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

環境省令の該当する号	施設の種類	公表事項
第七号	安定型の産業廃棄物の最終処分場	以下のとおり

イ 埋め立てた産業廃棄物の各月ごとの種類及び数量

(状況：平成 26 年度分 (単位：t))

産業廃棄物の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
廃プラスチック類	135.94	146.28	133.67	124.98	109.26	118.76	157.18	111.45	127.78	56.00	40.06	130.58
ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	71.85	95.61	80.29	98.46	104.50	59.23	83.71	93.71	65.23	25.10	27.60	50.05
がれき類	240.96	106.34	81.62	208.42	88.88	120.38	93.70	101.08	51.83	14.64	37.20	14.08
石綿含有産業廃棄物	8.57	0.77	1.76	0.00	4.10	11.39	18.60	3.41	0.85	1.61	0.12	0.91
安定型混合物	43.50	64.80	66.21	44.62	46.73	64.45	69.41	63.95	105.64	44.19	51.48	49.63
計	500.82	413.80	363.55	476.48	353.47	374.21	442.60	373.60	351.33	141.54	156.46	245.25

ロ 最終処分基準省令第二条第二項第二号の規定によりその例によることとされた最終処分基準省令第一条第二項第七号の規定による点検に関する次に掲げる事項

(状況：平成 26 年度分)

項目	点検を行った年月日	点検を行った結果	擁壁等が損壊するおそれがあると認められた場合	
			措置を講じた年月日	講じた措置の内容
埋め立てる一般廃棄物の流出を防止するための擁壁等	平成 26 年 4 月 9 日	異常なし	—	—

ホ 最終処分基準省令第二条第二項第二号ハ及びホの規定による水質検査に関する次に掲げる事項
 (周縁井戸 A 又は地下水集排水設備)

(状況：平成 26 年度分)

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
アルキル水銀	検出されないこと。	安定型地下水上流部	平成 26 年 11 月 26 日	平成 26 年 12 月 25 日	異常なし
総水銀	一リットルにつき 0.0005 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
カドミウム	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
鉛	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
六価クロム	一リットルにつき 0.05 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
砒素	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
全シアン	検出されないこと。	同上	同上	同上	異常なし
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	同上	同上	同上	異常なし
トリクロロエチレン	一リットルにつき 0.03 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
テトラクロロエチレン	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
ジクロロメタン	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
四塩化炭素	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・二・ジクロロエタン	一リットルにつき 0.04 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・一・一・ジクロロエチレン	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
シス一・二・ジクロロエチレン	一リットルにつき 0.04 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・一・一・トリクロロエタン	一リットルにつき 1 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・一・二・トリクロロエタン	一リットルにつき 0.06 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・三・ジクロロプロペン	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
チウラム	一リットルにつき 0.06 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
シマジン	一リットルにつき 0.03 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
チオベンカルブ	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
ベンゼン	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
セレン	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。 浸透水の水質等に照らして当該最終処分場の周縁の地下水の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。					

埋立処分開始後（周縁井戸 B）

（状況：平成 26 年度分）

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
アルキル水銀	検出されないこと。	安定型地下水下流部	平成 26 年 11 月 26 日	平成 26 年 12 月 25 日	異常なし
総水銀	一リットルにつき 0.0005 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
カドミウム	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
鉛	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
六価クロム	一リットルにつき 0.05 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
砒素	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
全シアン	検出されないこと。	同上	同上	同上	異常なし
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	同上	同上	同上	異常なし
トリクロロエチレン	一リットルにつき 0.03 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
テトラクロロエチレン	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
ジクロロメタン	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
四塩化炭素	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・二・ジクロロエタン	一リットルにつき 0.04 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・一・ジクロロエチレン	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
シス一・二・ジクロロエチレン	一リットルにつき 0.04 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・一・一・トリクロロエタン	一リットルにつき 1 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・一・二・トリクロロエタン	一リットルにつき 0.06 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・三・ジクロロプロペン	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
チウラム	一リットルにつき 0.06 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
シマジン	一リットルにつき 0.03 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
チオベンカルブ	一リットルにつき 0.02 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
ベンゼン	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
セレン	一リットルにつき 0.01 ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
<p>「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。</p> <p>浸透水の水質等に照らして当該最終処分場の周縁の地下水の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。</p>					

(浸透水採取設備)

(状況：平成26年度分)

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る 浸透水を採取した場所	水質検査に係る 浸透水を採取した年月日	水質検査の結果の 得られた年月日	水質検査 の結果
アルキル水銀	検出されないこと。	安定型処分場	平成26年11月26日	平成26年12月25日	異常なし
総水銀	一リットルにつき0.000五ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
カドミウム	一リットルにつき0.0一ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
鉛	一リットルにつき0.0一ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
六価クロム	一リットルにつき0.0五ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
砒素	一リットルにつき0.0一ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
全シアン	検出されないこと。	同上	同上	同上	異常なし
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	同上	同上	同上	異常なし
トリクロロエチレン	一リットルにつき0.0三ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
テトラクロロエチレン	一リットルにつき0.0一ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
ジクロロメタン	一リットルにつき0.0二ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
四塩化炭素	一リットルにつき0.00二ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・二ジクロロエタン	一リットルにつき0.00四ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・一ジクロロエチレン	一リットルにつき0.0二ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
シス一・二ジクロロエチレン	一リットルにつき0.0四ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・一・一トリクロロエタン	一リットルにつき一ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・一・二トリクロロエタン	一リットルにつき0.00六ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
一・三ジクロロプロペン	一リットルにつき0.00二ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
チウラム	一リットルにつき0.00六ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
シマジン	一リットルにつき0.00三ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
チオベンカルブ	一リットルにつき0.0二ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
ベンゼン	一リットルにつき0.0一ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし
セレン	一リットルにつき0.0一ミリグラム以下	同上	同上	同上	異常なし

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。
浸透水の水質等に照らして当該最終処分場の周縁の地下水の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量について一月に一回以上測定し、かつ、記録すること。

(状況：平成 26 年度分)

	水質検査に係る地下水又は 浸透水を採取した場所	水質検査に係る地下水又は 浸透水を採取した年月日	水質検査の結果の 得られた年月日	水質検査の結果
				生物化学的酸素要求量 又は 化学的酸素要求量 (mg/l)
4 月	安定型処分場浸透水排水口	平成 26 年 04 月 09 日	平成 26 年 04 月 24 日	5.1
5 月	同上	平成 26 年 05 月 14 日	平成 26 年 05 月 26 日	8.9
6 月	同上	平成 26 年 06 月 11 日	平成 26 年 06 月 19 日	12
7 月	同上	平成 26 年 07 月 09 日	平成 26 年 07 月 18 日	15
8 月	同上	平成 26 年 08 月 13 日	平成 26 年 08 月 21 日	11
9 月	同上	平成 26 年 09 月 12 日	平成 26 年 09 月 25 日	9.4
10 月	同上	平成 26 年 10 月 10 日	平成 26 年 10 月 18 日	12
11 月	同上	平成 26 年 11 月 12 日	平成 26 年 11 月 21 日	7.9
12 月	同上	平成 26 年 12 月 10 日	平成 26 年 12 月 20 日	9.1
1 月	同上	平成 27 年 01 月 16 日	平成 27 年 01 月 23 日	8.7
2 月	同上	平成 27 年 02 月 12 日	平成 27 年 02 月 23 日	8.3
3 月	同上	平成 27 年 03 月 11 日	平成 27 年 03 月 19 日	4.7

埋立処分終了後、生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量について三月に一回以上測定し、かつ、記録すること。

(状況：平成 26 年度分)

	水質検査に係る地下水又は 浸透水を採取した場所	水質検査に係る地下水又は 浸透水を採取した年月日	水質検査の結果の 得られた年月日	水質検査の結果
				生物化学的酸素要求量 又は化学的酸素要求量
1 回目	—	—	—	—
2 回目	—	—	—	—
3 回目	—	—	—	—
4 回目	—	—	—	—

へ 最終処分基準省令第二条第二項第二号ニ及びへの規定による措置に関する次に掲げる事項

(状況：平成 26 年度分)

項 目	原因の調査	措置を講じた年月日	措置の内容
地下水等検査項目に係る水質検査の結果、水質の悪化（その原因が当該最終処分場以外にあることが明らかであるものを除く。）が認められた場合	該当なし	—	—

(状況：平成 26 年度分 公表の期限：措置を講じた日の属する月の翌月の末日)

項 目	最終処分場への産業廃棄物の搬入及び埋立処分中止	措置を講じた年月日	措置の内容
水質検査の結果、地下水等検査項目のいずれかについて当該地下水等検査項目に係る基準に適合していないとき。	該当なし	—	—
水質検査の結果、生物化学的酸素要求量が一リットルにつき二十ミリグラムを超えているとき、又は化学的酸素要求量が一リットルにつき四十ミリグラムを超えているとき。	該当なし	—	—